

第3学年通信 No.12 (生徒の皆さん & 保護者の皆さまへ)

宮城県泉松陵高等学校33回生
2015/9/24 発行

http://www.shoryo.myswan.
文責 平山 元春

さあこれからが本当の勉強だ！

合格内定者、おめでとう。
A O 1 次の結果がよかった人、油断せずに頑張れ。
公募推薦・指定校推薦を考えている人、油断せずに頑張れ。
いずれにしても、ここから勉強を加速させる時期！
最高学府に学ぼうとしている人、今勉強をしっかりとっておかないと！
就職の人、内定が出るといいですね。授業ももう半年間しか体験できませんよ。
悔いの無いように日々楽しみながら努力しましょう！

センター試験まであと 113 日

受験は団体戦

7月進研記述模試 各教科からのアドバイス等

～もう一度問題を片手に、じっくりと読んで復習してください。

① 国語

【分析総評】

現代文、特に評論の読解は、良好な成績でした。特に、成績B層の古文は全国平均（成績D層）を大きく上回りました。評論はD層以上は全国平均を上回りましたが、漢文は、すべての層で全国平均を下回っています。小説は、成績C、D層が、全国平均を上回り、B層は下回りました。（参考 「成績層」…A：偏差値 以上 B： 以上 C： 以上 D： 以上 E： 未満）

6月マーク模試よりも平均点偏差値は下がりましたが、B層のがんばりが目立ちます。B層の諸君はこの調子でA層に食い込んでいきましょう。

【アドバイス】

現代文は、評論の力が付き始めた印象がありますが、小説に対する丁寧な読みができていません。想像力を豊かにし、後期の授業で扱う「舞姫」に、主体的に取り組みましょう。古典に関しては、古文の学習成果が現れた人が出て来ていますが、全体としてはまだまだです。漢文が必要な人は、漢文の句法等、基礎の定着を図りましょう。

② 数学 X・Y・Z

[アドバイス]

受験数学は暗記科目です。センスは必要ありません。チャート式や教科書等を利用して、ひたすら問題のパターンを覚えましょう。100分やそこらでひらめくわけがありません。知識あつてのひらめきです。蓄積した知識量＝得点力。こつこつ増やして下さい。ちなみに各問の(1)が綺麗に解けるようになれば全国偏差値 です(教科書の例題レベルと思われ

③ 英語

大学受験の松陵生へのアドバイス。

松陵生の弱点の一つが、「受動態」。Be 動詞とか過去分詞が分からないのは問題外で、その大半が、過去分詞の次に『何が来るか』で苦勞している。by 以外の前置詞がくる場合は熟語として覚えた方がよい。大学入試でよく出題されるのが使役動詞の受動態。どういう訳か原形不定詞の部分が普通の不定詞になってしまう。

必答問題[3]の下線部(4)の be made to do がそれで、意味は be forced to do と同じ。「無理やり to do させられる」という意味。使役動詞の let には受動態がないので、その代用としての be allowed to do をあわせて覚えて欲しい。

必答問題[4]は、良問。「長文が苦手、」という松陵生は、是非、もう一度、辞書を片手に解いてもらいたい。特に、「苦手」という人は、これを機会に that を総復習してもらいたい。代名詞の that、関係代名詞の that、接続詞の that など色々ある。接続詞の that だけでも、名詞節を導く that、副詞節を導く that、同格の that、強調構文の that がある。その違いが分かってくれば、長文問題の攻略も可能になってくる。

(必答問題[4]の問題文中にある 6 個の that、是非、辞書を片手に調べてもらいたい。それだけで、力が付くと思う。)

(アドバイスは裏に続きます)

④物理基礎

【分析総評】本校生徒の平均点は全国平均の 割，設問毎の得点は第1問の「運動とエネルギー」が全国平均の 割，第2問の「波」が全国平均の 割，第3問の「電気」が全国平均の 割でした。「運動とエネルギー」，「波」の分野を重点を置いて，問題演習による実力養成が待たれます。50点満点で 点を目標に頑張らせたものです。

【アドバイス】松陵生の平均点は全国平均の 割，設問毎の得点は第1問の「運動とエネルギー」が全国平均の 割，第2問の「波」が全国平均の 割，第3問の「電気」が全国平均の 割でした。「運動とエネルギー」，「波」の分野を重点を置いて，問題演習を頑張ってください。いつも言うように，使用する問題集はニューアチーブのような簡単なもので構いません。50点満点で 点を目標に頑張ってください。

⑤化学基礎

1, 2ともに教科書レベルの基本的な問題です。

授業での内容やこれまでの定期試験で出題された内容を復習すれば，しっかりと得点できる問題でした。確実に正解してほしいところです。

次回確実に点数を取るには，復習が必要不可欠です。今回分からなかったところは，もう一度じっくりと教科書を読み返しワークで練習しましょう。例えば物質量の計算ならば比例式を立てて丁寧に計算を行うと，考え方が理解でき，間違いも少なくなります。繰り返し問題を解くことにより，解き方そのものが身につく，初めて見る問題にも対応できるようになります。

化学基礎は，一度習っているので思い出すのに時間はかからないと思います。根気よく，丁寧に，しっかりと復習を行いましょう。

⑥生物基礎

【分析総評】

今回の模試での校内平均点は 点となっています。今回は全国平均 20.1点でしたので，点ほど下回った結果となっています。

第一問の「遺伝情報とゲノム」，第二問では「免疫」となっていますので，比較的理解が難しい单元であったと思いますが，問題の内容は基本事項を抑えることで十分全国平均点を狙うことは可能であると感じます。

【アドバイス】

第1問 遺伝情報とゲノム

遺伝情報・ゲノムについての基本事項は，教科書をよく読み内容の理解に努めましょう。その上で問題を解くにあたり，DNA・RNAの性質，塩基配列からのアミノ酸の指定，体細胞分裂，ゲノムの内容を踏まえた問題になっていますので，重要事項を確認するようにしましょう。

第2問 免疫

外部からウイルスが侵入した際に，対外や体内で防御する流れを教科書を読み理解してください。次に，ウイルスからからだを守る物理的・化学的防御システム，さらに体内に侵入された際にはたらく，自然免疫と獲得免疫について理解しましょう。

細かい部分では，自然免疫における好中球やマクロファージの働き，樹状細胞の働き，獲得免疫におけるT細胞・B細胞のはたらき，免疫反応における不利益（アレルギー）について，資料集などを活用し，内容理解に努めましょう。

また，最後の問題では血清中における抗体が問題になっておりますので，関連する内容として抗原抗体反応・予防接種・血清療法について確認しておくとうよいと思います。

⑦地学基礎

第1問：宇宙における地球

問1のA：コロナは常識，B：プロミネンスはやや難しい問題です。問2は，太陽の表面温度から考えると，易しい問題です。問3は，太陽系の天体の回転方向を把握していることが大前提です。問4は，木星の表面が気体であることがわかっているれば，楽勝です。

問5は，難易度が最高の問題です。しかし，遷移的に暗くなることが発想できると，常識力満点です。問6は，相手に伝わる表現力が必要です。普段から，空間把握力を身につけるように意識して過ごしましょう。

・第2問：変動する地球

問1は，易しい問題です。問2は，グラフより， V_p ， V_s を正しく求め，大森公式を使う，二段階の計算力を試す問題でした。手順に沿って，きちんと整理して解きましょう。問3は，一見，難易度が最高の問題です。しかし，よく考えましょう。S波の速度が分かれば楽勝でした。問4は，分かりづらいようでも，消去法で図示すると簡単に解けます。問5

のホルンフェルスは常識です。問6は，当たり前前に考えましょう。問7は，不整合の回数だけ考えると良いです。問8は，オゾン層が上空 20～30 kmに存在する事が分かっているかどうかで勝敗が分かります。問9は，a南極は南半球にあり，季節が北半球と逆であること。b,c表1より，正確に読み取ること。言葉に惑わされず，冷静に解こう。問10はグラフより，1900年～2000年の100年間で20cmの上昇を読み取れば，合格です。

◎総評として：全体的に，良く解けていたと思います。ただ，もう少しイメージをつくることと，冷静に，かつ，正確に分析することを大切にして勉強すれば，もっと獲れます。日常の生活の中で，物事をきちんと見つめるくせをつけよう。

⑧物理

【分析総評】本校の平均点は，全国平均の 割で，6月マークが全国平均に近かったのと比較して大幅にダウンしました。「記述に弱い」という本校生の特性が顕著に現れました。設問毎の本校平均は第1問の「力学」が全国平均の 割，第2問の「熱力学」が全国平均の 割，第3問の「波動」が全国平均の 割という結果で，どの分野も力不足ですが，特に「熱力学」が弱いことが明らかになっています。「熱力学」分野に特に力を入れた問題演習が待たれます。

【アドバイス】本校の平均点は，全国平均の 割で，6月マークが全国平均に近かったのと比較して大幅にダウンしました。「記述に弱い」という本校生の特性が顕著に現れました。設問毎の本校平均は第1問の「力学」が全国平均の 割，第2問の「熱力学」が全国平均の 割，第3問の「波動」が全国平均の 割という結果で，特に「熱力学」が弱いことが明らかになっています。「熱力学」分野に特に力を入れて問題演習に励んで下さい。今回の問題では第1問の間5，第3問の間4は難問なので出来なくても気にしないで結構ですが，他の問題で出来なかったものは解答を読んで理解して下さい。

⑨化学

全国平均点 33.6点、本校平均点 点、その差約 点で、問題数としてあと 問解ければ全国平均点と同じ（全国偏差値 50）になる。

問題を分析すると、基礎基本問題 5 5点、標準問題 3 2点、応用問題 1 3点で、問題レベルとしては簡単な問題だったと思われる。基礎基本問題だけ解けるだけで、全国平均点を大きく超えることができる。まずは基礎基本から丁寧に勉強しよう。

参考までに、私の考える基礎基本問題をあげておきます。

1 問1、問2、問3、問4、問5 2 問1(2)、問2、問3、問7(1)

3 問1、問4、問5、問6 4 問1、問2、問3、問4(1)、問6

⑩生物

生物を受験で使う皆さんへ，大問ごとのアドバイスです。

1 ほとんど生物基礎からの出題です。このように，生物で受験するには，生物基礎も勉強しておかないといけません。一問一答，セミナー，課外で配布したプリントなどで学習してください。

2 基礎知識で解ける平易な問題です。この分野が苦手で解けなかった人は，生物での受験を見直し，生物基礎に変更することを勧めます。

3 問1～6を確実に解ければ，問7を捨てるのも可です。問7のような塩基配列問題は一種のパズルであり，焦っているときは解けません。後回しにして，最後に余った時間で取り組むべきです。

4 問5，問6の実験考察は難問です。解けた人は素晴らしい！その他の知識問題は確実に解こう。

⑪世界史B

1は全て既習問題であり，しかも基本問題と言えるため，確実に解答してほしい箇所である。古代オリエント・ギリシア等は授業で取り上げてから時間が経っているが，しっかり解答できただろうか？そして，問7のような資料活用問題を苦手としている者も多いが，そろそろこのような出題形式にも慣れてほしい。

2以降は選択問題である。2に関しては，特に問2の官吏任用制度が出題されやすく，その後「科举制度」に至るまでの制度の変遷を押さえておくべき。3は，最近の授業で学習した内容のため，7月模試を受けた段階では解答するのが困難だったかもしれないが，今なら十分に対応できる問題だ。しっかりと復習しておこう。

また4・5は，1年次の世界史Aにおいて学習した範囲である。ただし，世界史Bとしては未習であるため，応用問題には歯が立たなかったはずだ。しかし，基本問題は十分に解答出来るレベルである。特に4の問1・問7，そして5の問1は，1年次に定期考査でも出題したものである。人物名に関しては，その業績から名前を導き出せるようにしておいてほしい。

なお，6を選択した者は殆どいないと思われるが，この問題は完全に未習分野であり得点することほ困難であるため，選択問題とはしないのが賢明である。この分野に関しては，10月以降の授業で学習していく。

⑫日本史B ⑬政治・経済 ⑭倫理は次号に掲載します。